

## 本書の構成, 使い方

- a) 見出し語: 約 1100 語の日常語をアルファベット順に示した. 同音異義語の場合は, 見出し語を別に立てた.  
例: **palm**<sup>1</sup> 手の平 **palm**<sup>2</sup> ヤシ(の木)
- b) 次に見出し語の代表的な訳語を示した.
- c) **解説** 必要に応じて見出し語を補足.
- d) **連想語** 当該語を刺激語 (stimulus word) とした場合, 米英人が連想する典型的な語・句を示している. 連想語を示すに当たり, いくつかの米英の連想語データベースなども参照した.
- e) **イメージ** 本書の根幹を成す項目で, 一般的な英和辞典ではカバーし難い語の連想・イメージの指摘・解説に努めた.
- f) **目米比較** 日本人がイメージするものと米英人がイメージするものにギャップがある場合に示した.
- g) (●) 以降に, 見出し語を含む関連語句や成句などとその訳を示した (なお, 直喩 (simile) やことわざが語の連想イメージにつながっていると考えられる場合が多々ある. 例えば cucumber の属性 (attribute) に coolness (冷たさ, 冷静さ) は必ずしも含まれないが, (as) cool as a cucumber という何世紀も前からある直喩 (simile) の存在が cucumber の連想イメージにつながっているとみてよからう).
- h) (◆) 以降に, 当該語の連想イメージを彷彿とさせるような, 見出し語 (太字で表示) を含む文例を出来るだけ示した.

結論的に a) から h) まですべての構成要素のいわば「総和」が本連想辞典を成していることを読者にはご理解いただきたい.

### 凡例 (代表的なもののみを示す)

- ( ) は訳語を示す場合に用いている.  
例: Santa Claus (サンタクロース), reindeer (トナカイ), candles (ローソク), 花の女王 (queen of flowers)
- a) 見出し語や関連語句でほかに交代可能語句がある場合はスラッシュ (/) で区切る.  
例: **grandmother/grandma**

b) 英語の詞を区切る場合にスラッシュ(/)を用いる.

例: The lemon tree is pretty, and the lemon flavor is sweet / But the fruit of lemon is impossible to eat.

3. → を記して当該語のクロスレファレンスが同一ページ, または他のページに存在することを示している.

例: Arbor Day 植樹祭 (→ April の項を参照)

4. [ ] は交代可能語句を示す.

例: have [get, feel] butterflies in one's stomach

5. ( ) は付加的説明の際, 用いる.

例: angel 心も姿もすてきな人, 優しい人 (特に女性・子供に用いる)

例: (比喩)「降雪」(snowfall)

6. 語句の文字通りの和訳の後に, 転義や隠れた意味を加える際は ⇨ を用いて説明している.

例: Christmas comes but once a year. (ことわざ) クリスマスは年に一度しか来ない ⇨ だから大いに楽しみにしなさい.

例: put lipstick on a pig ブタに口紅を塗る ⇨ うわべだけきれいにしても本質は変わらない

7. 小説, 戯曲, 楽曲などの原題はイタリックで表示した.

例: *Rudolf, the Red-nosed Reindeer* 『赤鼻のトナカイ』